

韓国のデザイン&ライフスタイルブランド Wekino 2024年9月にエキシビジョンを開催し、日本初お披露目

会期：2024年9月28日（土） - 10月6日（日）

会場：LICHT Gallery（東京・中目黒）



家具やホームアクセサリーの製造販売をはじめ、幅広いプロジェクトを展開する韓国のデザイン&ライフスタイルブランド Wekino（ウィキノ）は、2024年9月28日(土)より、LICHT Galleryにてエキシビジョンを開催いたします。

ファッション、映画、音楽をはじめとするエンターテインメントを牽引する国として国際的な認知度を高める韓国・ソウルで誕生したWekinoは、家具やホームアクセサリーをはじめ、韓国の気鋭デザイナーと共にさまざまなプロジェクトを展開しています。

2023年冬に開催されたストックホルム国際家具見本市では、韓国の若手デザイナー5名とWekinoのデザインチームがデザインした新作コレクション「Wekino With（ウィキノ・ウィズ）」を発表し、話題を集めました。新たな息吹を感じさせる韓国の若手クリエイターとともに、一過性のトレンドをおいかけけるのではなく、新鮮さがありながらもタイムレスに愛されるストーリーのあるアイテムを展開し、ブランド、デザイナー共に成長するブランドを目指しています。

また、素材、テクスチャー、ライン、フォルム、カラーにおけるユニークな展開と豊富な選択肢により、ユーザーの好みや価値観で自由にコーディネートできるのも魅力の一つです。

厳選された素材、確かな職人技、大胆なカラーが絶妙に調和したデザインを通して、韓国文化とクラフトマンシップを融合しながらも、ポジティブでアクティブなライフスタイルをWekino独自の世界観でワールドワイドに発信していきます。

掲載・プレスに関するお問い合わせ先 HOW INC. MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp TEL. 03-5414-6405

お客様お問い合わせ先 WEKINO wekgb@wekino.co.kr

Wekino Exhibition

会期：2024.9.28(土) – 10.6(日) 13:00-18:00 火・水曜日定休
会場：LICHT Gallery 東京都目黒区青葉台3-18-10 カーサ青葉台2F
Tel. 03-6452-5840 <https://licht-gallery.com>

日本初お披露目を記念し、Wekinoのアイテムを手がけるデザイナー Kwangho Lee (イ・カンホ) が来日し、9月27日(金)にプレスレビューとレセプションを開催します。また、9月28日(土)には、スペシャルイベントとして、Kwangho Leeのデザイントークを実施いたします。

■ Press Preview & Reception

日時：2024.9.27(金)
13:00-17:00 プレスレビュー
17:00-20:00 レセプション

ご参加にあたっては、お手数ですが9月25日(水)までに下記フォームよりお申し込みください。
お申し込みフォーム: <https://forms.gle/MKvfQCABuvhM2QPe9>

■ Design Talk with Kwangho Lee (イ・カンホ) & Kuo Duo (クオ・デュオ)

日時：2024.9.28(土) 15:00-16:00

ご参加にあたっては、お手数ですが9月25日(水)までに下記フォームよりお申し込みください。会場の都合上、先着順、事前申込制となります。定員に達した場合は、お申込みを締め切らせていただきます。予めご了承ください。

お申し込みフォーム: <https://forms.gle/i1W8Z2ktVuxAS3RK6>

Wekino について

共同代表を務めるJi Eunsuk (ジ・ウンソク) と Kim Soojin (キム・スジン) により2014年に設立。現在、ソウル、大邱(テグ)、釜山(プサン)の3都市を拠点に旗艦店とオンラインショップを展開しています。

幅広いプロジェクトを展開する韓国のデザイン&ライフスタイルブランド Wekinoは、独自のスタイルを追求しながら厳選された素材、精巧な職人技、大胆な色使い、控えめで洗練されたデザインの現代的な家具やホームアクセサリーの製造販売を行っています。

2023年冬に開催されたストックホルム国際家具見本市では、韓国の若手デザイナー5名とWekinoのデザインチームがデザインした新作コレクション「Wekino With」を発表するなど、デザイナーとのコラボレーションも積極的に行っています。

<https://wekino.co.kr/main>



Yangjae (ソウル)



Busan (釜山)



Daegu (大邱)

展開ラインアップより

BILLOW LOUNGE CHAIR (ビロー ラウンジ チェア)



デザイン：Wekino

山々にかかる重い雲からインスピレーションを得てデザインされたビローラウンジチェアは、緻密で曲線的な張り地と、直線的で建築的なオーク無垢材のベースが調和しています。贅沢な座り心地とゆったりとしたサイズ感、パブリックスペースから個人宅まで、あらゆる空間でご使用いただけます。

DEED SOFA (ディード ソファ)



デザイン：Wekino

シンプルさと居心地の良さを兼ね備えたデザインのモジュール式ソファ。組み合わせによって様々なレイアウトが可能で、どのような空間でも安定した調和を生み出します。ビビッドなカラーとクラシカルなコーデュロイ生地、の質感が、ボリュームのあるフォルムをより魅力的に演出します。普遍的でベーシックなデザインと快適な座り心地が魅力です。

PIROUETTE SHELF (ピルエット シェルフ)



デザイン：Kwangho Lee (イ・カンホ)

2015年にKwangho Leeが、出版社Phaidonとのプロジェクトで共同制作したプロトタイプをベースに、Wekinoのフィロソフィーを反映したシェルフコレクションとして生まれ変わりました。本コレクションでは、オブジェの役割を最大限に引き出し、2段、3段のシェルフ、サイドテーブルなど、多様な構成が可能になりました。Pirouetteは、バレリーナがつま先を軸に身体を回転させる動作を意味しています。あらゆるスペースに柔軟で多機能に対応する、フレキシブルなシェルフシステムです。

Kwangho Lee プロフィール



弘益大学校で金属工芸とデザインを学んだ後、韓国のソウルを拠点に活動。幼い頃、農家を営んでいた祖父が、身近にある自然の素材を使って日用品を作っていたことに影響を受け、手作業で物を作ることに大きな喜びを感じ、遊び道具を作ったり絵を描くことに興味を持ちながら成長しました。この体験をもとに、日用品に新たな意味と機能を与えながら作品に取り組むようになりました。

近年は、素材が別の素材と結びつく瞬間を発見することをテーマにその実践を発展させ、新しい作品を発表し続けています。

STOUT CHAIR (スタウト チェア)



デザイン：STUDIO PESI (スタジオ・ペシ)

パウダーコーティングを施したスチール製のチェア。アームレスチェアとアームチェアがラインアップされています。熟練の職人の技術による曲線的なパーツと、堅牢な素材感がエレガントなフォルムを生み出します。

STOUT (強い) という名の通り、ふっくらとしながら頑丈なシーティングオプションを取り揃え、カフェやレストランをはじめとする様々な商業スペース、そしてご家庭のダイニングスペースに耐久性と快適性をもたらします。断面が楕円形の背もたれと、背もたれから後ろ足まで続く滑らかな曲線が特徴的で、空間に温かさと活力を与えてくれます。

STUDIO PESI プロフィール



Possibility、Essential、Standpoint、Interpretation の略称であるSTUDIO PESIは、2015年にByounghwi Jeon (チョン・ビョンヒ) によって設立されたソウルを拠点に活動する工業デザインスタジオです。シンプルさ、機能性、合理性を重視し、形態、機能、工業的な製造プロセスの可能性を探求することで、日常生活に繊細でエモーショナルな体験を届けることを目指しています。

ODDLY RUG (オッドリー ラグ)



デザイン：Studio Word (スタジオ・ワード)

触感豊かで大胆なデザインは、奇怪で不定形な岩の形 (アモルファス岩) の形状を描いた朝鮮時代の絵画から着想を得たものです。立体的な構図と、ギザギザの線と掃引するような曲線が織りなす予測不能で不規則なパターンと色の組み合わせが魅力的なラグです。

Studio Word プロフィール



2019年にKyuhyung ChoとJungyou Choiにより設立されました。ソウルとヨーロッパを拠点に、グラフィック、プロダクト、家具、空間デザインの分野で活躍しています。彼らの目標は、周囲の環境や、対象を注意深く観察し、発見し、伝統と現代を総合的に理解した上で、創造的で有用なデザイン言語を生み出すことです。

CHROMA MIRROR (クロマ ミラー)



デザイン：Studio CHACHA (スタジオ チャチャ)

韓国の伝統工芸品であるパッチワークの布 (チョガッポ) をモチーフにしたアートオブジェであり、鏡です。ポジャギは、物を包んだり運んだりするほか、壁に掛けたり、インテリアとして使用されることもあります。本作は、機能性 (鏡) と快楽性 (アート) を兼ね備えた現代的なオブジェです。

STUDIO CHACHA プロフィール



2017年に設立されたハイエンドなアートファニチャースタジオ。慣れ親しんだ素材に見慣れない組み合わせを用いることにより、新たな美意識、新しい美学を提示しています。

現在は、ガラスを使った作品づくりに力を入れており、透明なガラスにグラデーションカラーを加えたり、角張ったオブジェの形をアモルファスな形に変化させ、色同士が交錯することで、中間層の視覚的なイリュージョンを生み出しながら新しい素材の特性を発見しています。

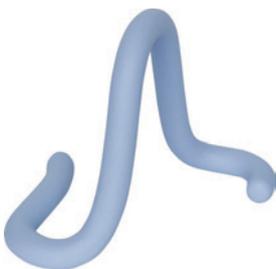
REEL HANGER (リールハンガー)



デザイン：KUO DUO (クオ・デュオ)

クリエイティブスタジオKUO DUOが2021年に制作した「REEL BASKET」のダイナミックで流れるようなデザインをいかしたコートラック。アルミ製のボディはフックに適度な重みと強度を持たせ、サンドキャストによる表面の質感はハンドメイドの彫刻のような印象を生み出しています。2サイズ、6色展開。

BOOK WORM (ブックワーム)



デザイン：KUO DUO (クオ・デュオ)

流動的で有機的なラインのブックエンド。棚の間に自由な曲線が流れるシーンをイメージしてデザインされています。書籍などの陳列方法によりさまざまな表情を見せ、軽量のLPから分厚い本までディスプレイすることができます。Reel Hangerと同様にサンドキャストで作られ、独特の質感と重厚感が棚やテーブルの上で、また書籍がなくてもそれ自体がアートオブジェとして機能します。

KUO DUO プロフィール



ソウルの弘益大学校で工業デザインを専攻したHwachan LeeとYoomin Maengが率いる、韓国を拠点とするクリエイティブ・スタジオ。

3Dデザインの領域で、実験的なプロジェクトから量産品まで、デザインの境界を探りながら、家具、生活用品、インスタレーションまで手掛けています。素材や制作のデザインプロセスにおいて、実験や調査を伴い、スタジオの表現と想像力の冒険を広げています。